

# 児童発達支援アールプラス 個別支援プログラムの基調

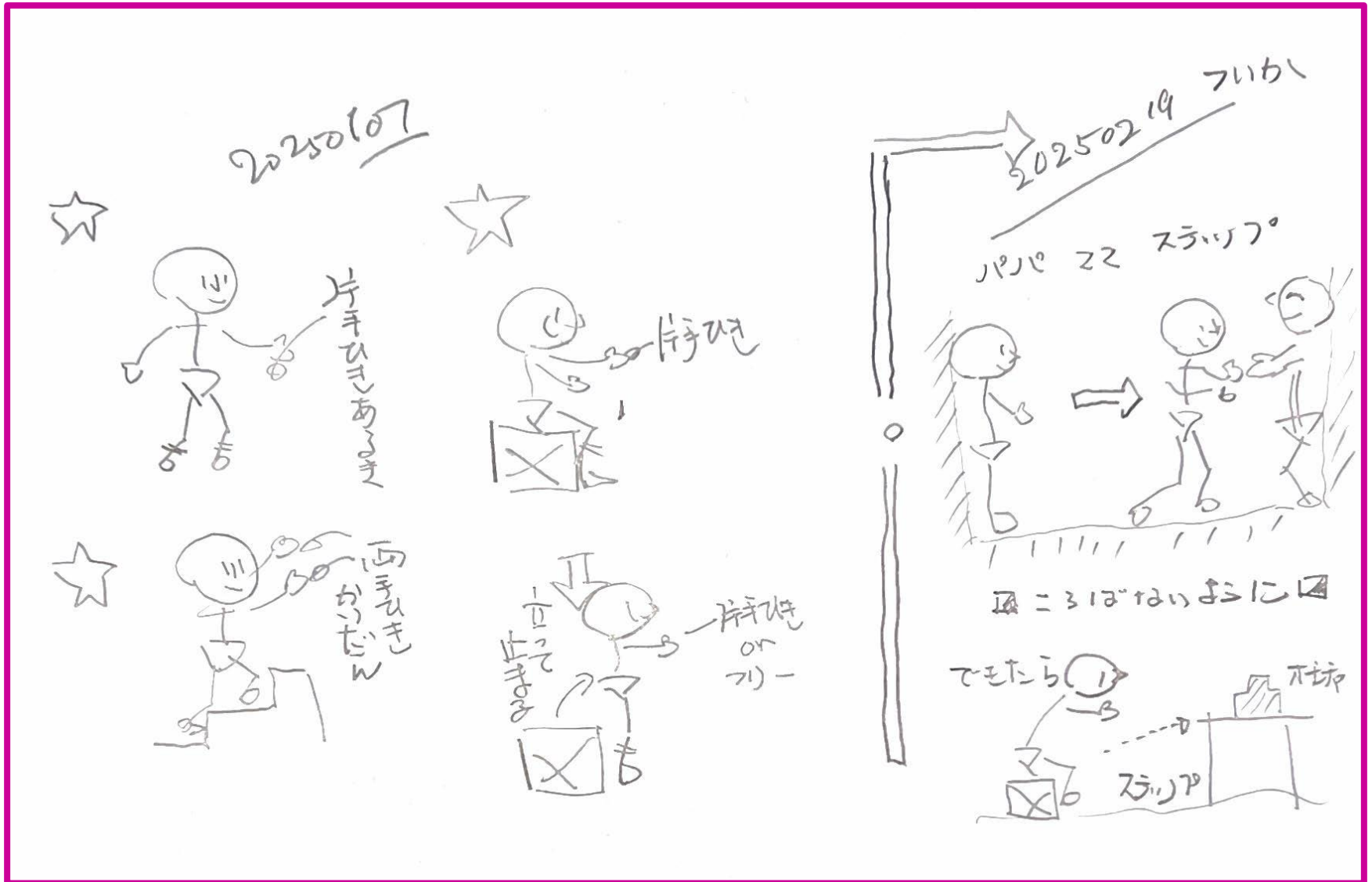
作成日 2025年3月20日 公開

みずいろ部分はアールプラスの支援プログラムの共通事項です

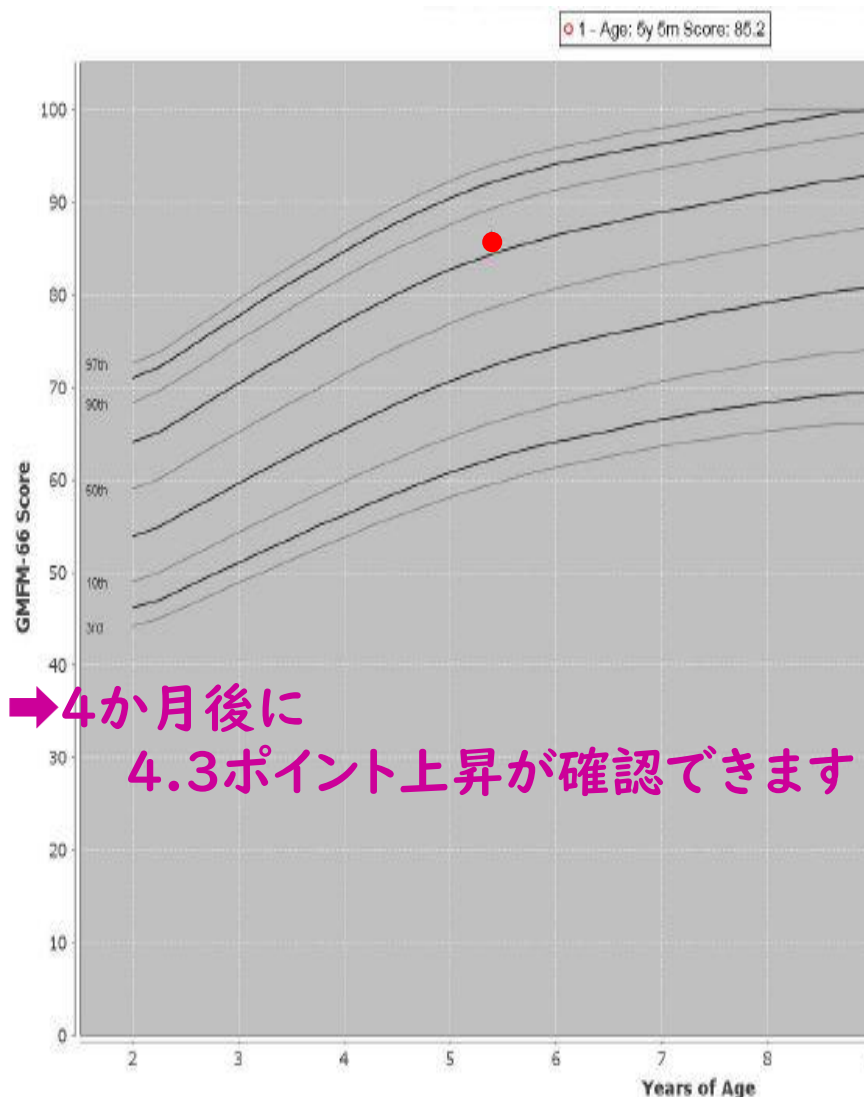
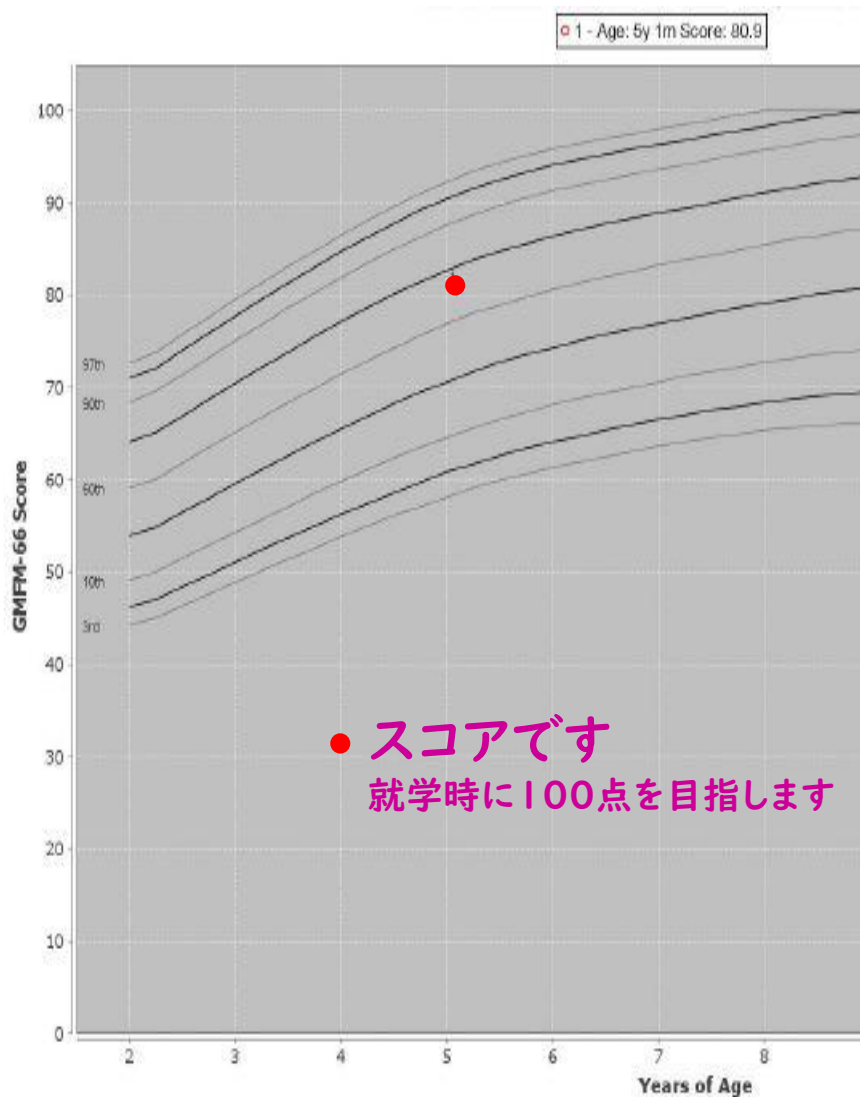
ピンク部分の5領域のプログラムは、項目はそのままですが①～④はお子さんに応じた内容となります

|           |   |   |   |
|-----------|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | ① 成人期に就労する人生において、乳幼児期は初期の道筋で多くを吸収できる重要な時期です。このかけがえのない乳幼児期において、アールプラスは大学のリハビリテーション専門職の力も集めて科学的根拠に基づき、合理的で楽しく持続できる「がんばりすぎないで」発達が培える子育てを共に応援します<br>② お子さまはもちろん、ご家族の皆さまの幸せな生活が安定して実現し持続できるように、「利用者さま中心」の考えと実践姿勢での子育てを共に応援します  |   |   |
| 支援方針      | <b>【基本的支援方針】</b> ・ ・ ・ ・ ① 科学的な評価と判断に基づき、お子さまとご家庭の事情に応じて、最適に必要な頻度で、無理のない現実的で実効性のある支援を行います<br>② 定期的に成果を可視化して保護者さまと共有し振り返り、着実にお子さまの発達を実現し保護者さまの安心を保障する支援を行います<br><b>【お子さまへの支援方針】</b> ・ ・ ① お子さまの個性を尊重し、発達の個性に応じてスモールステップで5領域の目標を設定し、発達が着実に歩む支援を行います<br>② 保育士での集団保育、医療専門職での個別療育をお子さまのニーズに応じて組合せて実施し、お子さまの強みを生かし伸ばす支援を行います<br>③ “意欲と快の感情を伴う体験が発達の力源”という脳科学と発達理論に基づき“楽しい体験”の援助に徹し“我慢や不快”を避ける支援を行います<br><b>【保護者さまへの支援方針】</b> ・ ・ ① 子育ての当事者である保護者さまのお気持ちや意向を尊重した面談により、安心して子育てを進める励みとなる支援を行います<br>② 定期的な振り返りの面談を通じて、お子さまの発達の進みゆく状況を共有・確認し、見通しをもった子育てを進める支援を行います |   |   |
| 営業時間      | 9 時 0 分から 16 時 30 分まで   | 送迎実施の有無   | あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>   |
|           | 支援目標  | 集団保育での支援内容  | 個別療育での支援内容  |
| 本人支援      | 健康・生活   | お子さんの発達に沿ってスモールステップで健康・生活の課題の目標を設定します<br><b>【保育士】</b> ① 毎日健康チェックを行い体の健康状態を把握する取組み<br><b>【児童指 導員】</b> ② 靴脱履、排泄、手洗いなど生活活動を獲得する取組み<br>③ おやつ時間を設け食べる楽しさを育てる取組み<br>④ 始まりと終わりを理解し生活リズムを形成する取組み          | <b>【作業療法士】</b> ① 食事・更衣・トイレ・お風呂・食事など生活の動作の取組み<br>② 睡眠・手洗い・身支度など感染予防や健康保持の取組み<br><b>【理学療法士】</b> ① 生活における動作の方法の工夫や、歩行などの耐久力向上の練習<br><b>【言語聴覚士】</b> ① 食べ方を練習し、呼吸を意識し栄養摂取を安定化する取組み           |
|           | 運動・感覚   | お子さんの発達に沿ってスモールステップで運動・感覚の活動の目標を設定します<br><b>【保育士】</b> ① 多様な遊びや作業で手足や体を楽しく使う活動の体験<br><b>【児童指 導員】</b> ② 玩具を使って自発的で楽しい手を使った活動の体験<br>③ 音楽に合わせてリズムのある身体活動の楽しさの体験<br>④ 大型遊具遊びで全身を使った体の動きの楽しさの体験         | <b>【理学療法士】</b> ① 寝返り・起き上り・立ち上り・歩くなど基本動作の練習<br>② 走る・階段・ジャンプ・スキップ・鉄棒・障害物など応用動作の練習<br><b>【作業療法士】</b> ① 腕や手先を使って楽しく遊ぶ、道具を使って食べる取組み<br><b>【音楽療法士】</b> ① 音楽で運動を変化させて楽しみを感じ運動技能を高める取組み         |
|           | 認知・行動   | お子さんの発達に沿ってスモールステップで認知・行動の行為の目標を設定します<br><b>【保育士】</b> ① さする、タッピングなどの刺激により感覚に慣れる取組み<br><b>【児童指 導員】</b> ② 多様な動きのおもちゃで興味の幅を広げる取組み<br>③ 少し困難な事にも挑戦し「がんばった」自信を培う取組み<br>④ 「色、形、大きさ、質感」など理解する製作活動の取組み    | <b>【作業療法士】</b> ① お子さんの興味に沿った行動を状況に応じて発展させる取組み<br>② 発達段階に応じた遊びの中で認知力が高まり遊びを発展させる体験<br><b>【言語聴覚士】</b> ① ことばやコミュニケーションで認知力が高まり満足が広がる体験<br><b>【音楽療法士】</b> ① 音楽を通じて聴覚機能が向上し、認知力を高める基盤となる取組み  |
|           | 言語<br>コミュニケーション   | お子さんの発達に沿ってスモールステップで言語・コミュニケーションの目標を設定します<br><b>【保育士】</b> ① スキンシップと声掛けで楽しい気持ちを共有する体験<br><b>【児童指 導員】</b> ② 好きな遊びを繰り返し「もう一回」を表出する取組み<br>③ 言葉とジェスチャーの模倣で多様な伝え方の体験<br>④ その場に合った言葉を聞かせ応答的に発語を促す取組み     | <b>【言語聴覚士】</b> ① 聴く力・理解力・話す力・身振りなどでの伝達力を高める練習<br><b>【音楽療法士】</b> ① 音楽で聴く力を養い、呼吸や発声練習を通じて楽しく歌える取組み<br>② 楽しく歌うことから言葉の使用につなげる楽しく満足できる体験<br><b>【理学療法士】</b> ① 発声時の呼吸コントロールの練習と、運動に合わせて発声する取組み |
|           | 人間関係・社会性  | お子さんの発達に沿ってスモールステップで人間関係・社会性のスキルの目標を設定します<br><b>【保育士】</b> ① 家族以外の人と関わる中で家族以外の人を意識する体験<br><b>【児童指 導員】</b> ② 好きな遊びの中で楽しさを共有し信頼関係を築く取組み<br>③ お友達と遊ぶ楽しさを理解・体験できる活動の体験<br>④ ゲームやサーキット遊びで待つ事や順番を理解する取組み | <b>【音楽療法士】</b> ① 合奏や楽器遊びでお友達と音を感じ合い人間関係に気づく体験<br>② 歌や楽器での応答遊びの中で相互理解による社会性を育む体験<br><b>【作業療法士】</b> ① パーテンの遊びの発達段階に沿い人間関係と社会性の発達を促す体験<br><b>【言語聴覚士】</b> ① 思いを伝えることが人間関係と社会性の発展に気づける取組み    |
| 家族支援      | <b>【利用児の子育て支援】</b> 家庭での接し方や工夫を提案します<br><b>【家庭の生活支援】</b> 家族皆の生活の考え方や工夫を提案します<br><b>【制度利用への支援】</b> 利用できる社会制度を検討し提案します   | 移行支援  | <b>【保育園・幼稚園および初等教育機関への移行支援】</b> 就園および就学にあたっては、就園・就学先の福祉・教育機関様と、保護者様の同意の上で情報を共有し、面談と打ち合わせをもって円滑な就園（併用を含む）・就学導入を支援します   |
| 地域支援・地域連携 | <b>【地域連携】</b> 最適支援を目指し各地域の行政機関と連携します<br><b>【地域支援】</b> 当施設の専門性を実際の地域支援につなげます   | 職員の質の向上   | <b>【技術知識の向上】</b> 定期的に検討会で繰り返し実践的に学び資質向上を目指します<br><b>【情意の向上】</b> 本学教員や外部研修会により療育者の考え方や接遇力を高めます   |
| 主な行事等     | 保護者会 ・ 季節の行事 ・ 保護者の交流会 ・ 避難訓練 ・ 成果交流集会  |   |   |

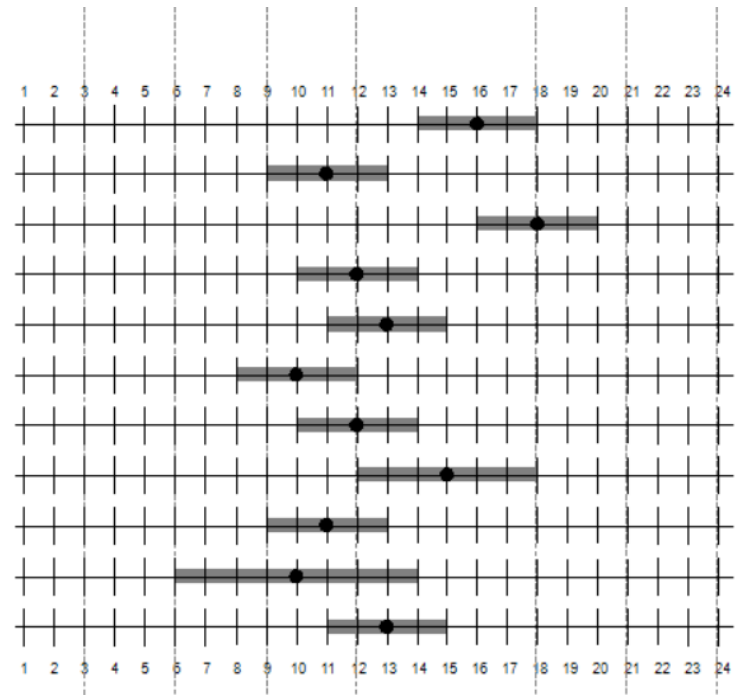
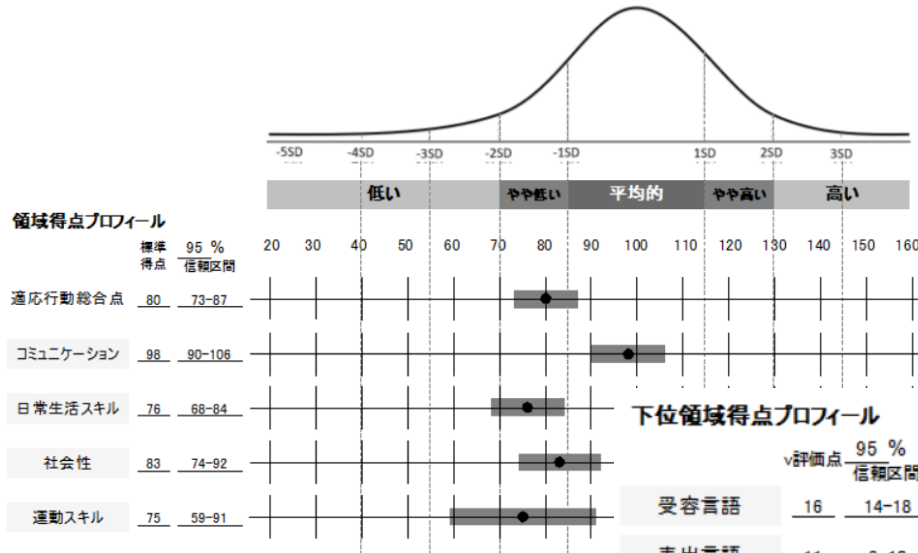
発達に沿って図を更新し最適な運動課題を提案して支援を進めます



## 定期的な検査で運動発達と課題を確認しつつ支援を進めます



定期的な検査で5領域全体での適応性の発達と課題を確認しつつ支援を進めます



定期的な検査で認知力の発達と課題を確認しつつ支援を進めます

